

ヴァイオリン公開レッスン

Violin Masterclass

11月29日（月） 17:00

TCM Hall

フェデリコ・アゴスティーニ Federico Agostini



フェデリコ・アゴスティーニは、国際的に高い評価を得ているヴァイオリニスト、ソリスト、室内楽奏者、教育者。

16歳でカルロ・ゼッキの指揮のもと、モーツァルトの協奏曲を弾いてデビュー、数多くのコンクールに優勝・入賞し、国際的に輝かしい活動を開始する。I Virtuosi di Roma に在籍後、1986年から”イ・ムジチ”合奏団のコンサートマスターを務める。そのかわりソリストとして世界有数のホールに登場。また1987年からローマ・フォーレピアノ五重奏団のメンバーとして活躍。ブルーノ・ジュランナ、ジェイミー・ラド、練木繁夫、ジョゼフ・シルバーシュタイン、ヤーノシュ・シュタルケル、堤剛、アメリカ SQ、エマーソン SQ、ファインアーツ SQ、東京 SQ、ガルネリ SQ などと共演し、常に高い評価を得ている。2004年にアミーチ四重奏団を結成。川崎洋介(オタワ・国立芸術アーツ管弦楽団のコンサートマスター)、ジェームス・クライツ(元アカデミカ四重奏団メンバー)、原田禎夫(元東京四重奏団メンバー)と世界中で成功を収めている。

CDは、バッハとヴィヴァルディの協奏曲(“四季”を含めた)、フォーレのピアノ四重奏、小品集、ブラームス全曲集を出している。ヴィヴァルディの“四季”は、美しいヴェネツィアで撮影されたDVDが名高い。指導者としても定評があり、日本、スウェーデン、イタリア、メキシコ、オーストラリア、香港などでマスタークラスを開催している他、トリエステのタルティーニ音楽院、ヴェネツィアのマルチェロ音楽院、トロツィンゲン音楽大学、インディアナ大学ジェイコブス音楽学校、ロチェスター大学イーストマン音楽学校、東京藝術大学などで教鞭をとり、毎年世界各地の音楽祭にも招聘されている。現在、愛知県立芸術大学客員教授。

塚本 禎 (4年) 伴奏：百武恵子先生
サン=サーンス 序奏とロンド・カプリチオーソ 作品 28

陳 金 (博士)

若杉 岳史 (院1年) 伴奏：百武恵子先生
プロコフィエフ ヴァイオリン協奏曲第1番 第1楽章

問い合わせ先：国際交流センター
intern.koryu@tokyo-ondai.ac.jp